

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年08月30日

計画の名称	梶原町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当	○				
交付対象	梶原町													
計画の目標	今後発生が予想される大地震による地盤変動が原因となって、甚大な被害が発生する可能性の高い盛土造成地において、基礎資料整理や現地踏査の結果に基づき、第二次スクリーニングの相対的な優先度を評価する 第二次スクリーニング計画を策定する。その後、第二次スクリーニングの結果をもとに、必要に応じて造成宅地防災区域の指定及び滑動崩落防止工事を実施していき、災害に強い安全・安心で快適な市街地整備を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R4当初）		（R4末）
1	第二次スクリーニング計画を策定・公表し、地域住民の関心を高める。 対象地域の詳細情報を、町ホームページ上に公表し住民の周知度を100%にする。 計画を策定・公表した大規模盛土造成地数／大規模盛土造成地数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	梶原町	直接	梶原町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査（梶原町広野地 区）	大規模盛土造成地の変動予測 調査（第二次スクリーニング 計画など）	梶原町	■					4		-
											小計						4		
											合計						4		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

梶原町総務課内で実施

事後評価の実施時期

令和6年8月

公表の方法

梶原町ホームページ

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

第二次スクリーニング計画の公表により、地域住民の関心を高めることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

第二次スクリーニング計画の示す方針に基づき、経過観察を実施し、異常が確認された場合は第二次スクリーニングを実施していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	ホームページ等で計画を公表した大規模盛土造成地数 / 大規模盛土造成地数		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	